

4月自然保護・ターブル合同山行「章魚頭姿山」案内書

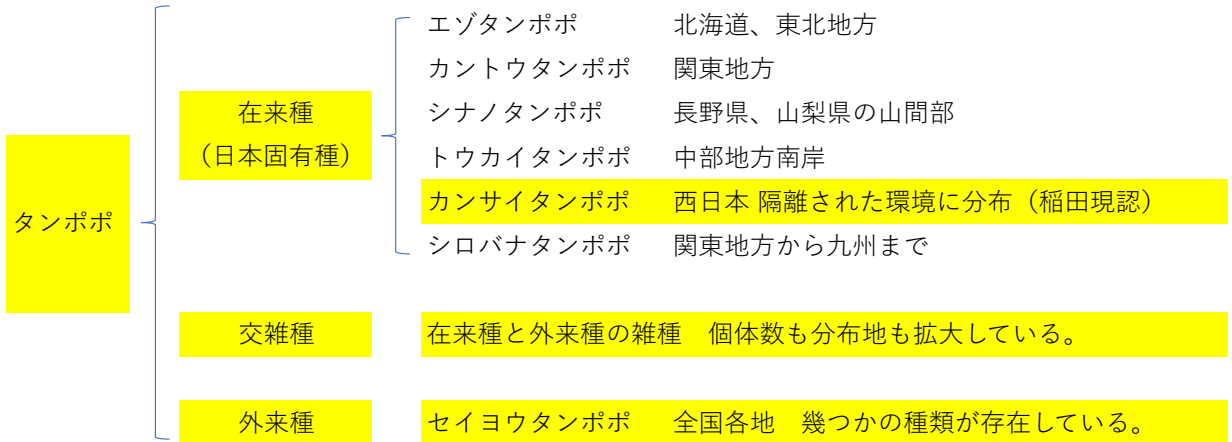
JR 紀三井寺駅から「和歌の浦」を經由し桜満開(?)の章魚頭姿山「たこずしやま」137mに登ります。タンポポの群生地を観察し海岸線(遊歩道)で日本のアマルフィ雑賀崎を目指します。歩行距離・時間 約7.5km約3時間 標高差約130M

- 1、日時 2024年4月7日(日) 注) 海岸線散策のため6日(土)午後3時の天気予報にて判断し中止もあり 中止の場合は3時以降 掲示板に記載
- 2、集合場所 JR 阪和線 紀三井寺駅 改札内トイレ使用后 改札外9時40分集合
- 3、交通手段と行程 往路 JR 天王寺駅7時53分発⇒和歌山駅乗換9時20分発⇒紀三井寺駅着9時26分着 復路 雑賀崎より和歌山バス雑賀崎循環バスにて南海電車 和歌山市駅へ 特急サザンにて帰阪(和歌山バスが4月に雑賀崎循環線の時刻表を変更(減便)する為、新時刻表発表次第 別途掲示板に記載)
- 4、トレッキングコース
JR 紀三井寺駅⇒妹背山⇒不老橋⇒御手洗池⇒紀州東照宮⇒紀州天満宮⇒章魚頭姿山(野点)⇒(海岸線遊歩道⇒蓬莱岩⇒浪早崎(紀淡海峡展望))⇒奥和歌大橋(雑賀崎集落・日本のアマルフィ眺望)⇒雑賀崎集落・漁港(散策) 雑賀崎で解散 雑賀崎より和歌山バス雑賀崎循環にて南海電車「和歌山市駅へ JR 紀三井寺へ雑賀崎集落を抜けて周回するトレッキングコースもあり
- 5、自然観察 章魚頭姿山のタンポポの群生を在来種・外来種の視点で観察する。(タンポポの資料はHPの「山行・行事予定表」にこの案内書と一緒に掲示)
- 6、持ち物 登山ではなくてハイキングです。(昼食 行動食 飲料 雨具 手袋 ストック ビニールシート(昼食・野点時使用) スマホ 保険証 ピンチカード等)
- 7、申し込み 会報発行日の翌週 3月1日(金) 午前8時以降 に会員番号、氏名、「章魚頭姿山」を明記し稲田のショートメールにて申込下さい。(稲田への連絡先は会報の案内書に記載しております。)
- 8、担当 ターブル部 CL 稲田 SL 児玉・上坂 自然保護部担当 飯塚 杉谷 特別サポート 重岡さん 章魚頭姿山頂上付近にて「野点」の予定
(以上)

ニホンタンポポを探そう！

私達が山行やハイキングで見かけるタンポポはそのほとんどが外来種のセイヨウタンポポです。私はタンポポを見かけると花の裏の総苞（ガクの様な物）の形態を確認します。総苞の片が反り返っていれば外来種、反り返っていなければ日本固有種です。今回 登る章魚頭姿山にはタンポポの群生があります。さてさてそのタンポポは在来種か外来種か、それとも交雑種か？

1) タンポポの種類とその分布



2) カンサイタンポポとセイヨウタンポポ

カンサイタンポポ (花期 4~5月)

日本在来のタンポポのうち、関西地方では、ほとんどこの種です。多くの舌状花が集まって1つの花をつくっています。花を包む緑色の総苞片は、そり返えられないのが特徴です。葉はロゼット状に広がり、大きいのがぎり状に切れこむものが多いようです。茎や葉を切ると白い乳液が出ます。カンサイタンポポは、昆虫の力によって、ほかの株から花粉を受けないと実ができません。セイヨウタンポポは、その必要がありません。種子は茶色でまっ白い冠毛がついて、風によって飛ばされ種子をできるだけ広くまきちらします。早春のタンポポの、丈は低く、地面にはりついたように咲いています。春のさかりになると花の柄は、ぐんと伸びて背丈が高くなります。時期によってこんな違いがあるのです。開花期は4~5月ですが、まれに秋にも咲くことがあります。

セイヨウタンポポ (花期 通常は春だが、10~11月にも咲く。)

セイヨウタンポポは、キク科タンポポ属の多年草である。ヨーロッパ原産の帰化植物。環境省指定要注意外来生物。日本の侵略的外来種ワースト100に選定されている。日本の在来種とは外側の総苞の反る点が異なる。英語名からダンデライオンともよばれ、シヨクヨウタンポポ、クロックフラワーの別名もある。

3) 在来種と外来種の見分け方 (A セイヨウタンポポ B ニホンタンポポ)



花だけでは見分け難い

在来種は反り返りがない

在来種はギザギザがない

(以上、章魚頭姿山基礎資料 稲田理)